



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月7日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証第一部  
 コード番号 4923 URL http://www.cota.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小田博英  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)廣瀬俊二 TEL (0774) 44-4923  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,490	△3.6	230	2.8	243	9.7	171	9.9
28年3月期第2四半期	2,583	2.2	223	19.2	221	16.8	155	25.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	11.87	—
28年3月期第2四半期	10.79	—

(注) 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	7,990	6,353	79.5
28年3月期	8,338	6,421	77.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 6,353百万円 28年3月期 6,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成29年3月期の業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,850	4.9	1,212	7.3	1,229	8.7	839	9.5	58.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期2Q	15,364,265株	28年3月期	15,364,265株
29年3月期2Q	941,938株	28年3月期	938,729株
29年3月期2Q	14,422,852株	28年3月期2Q	14,426,746株

(注) 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が見られるなど、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、美容業界におきましては、来店客数の減少や客単価の伸び悩み等、依然、美容室にとって厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、一部の代理店において美容室に対する販売実績が計画を下回ったことに加え、カラー剤において新製品と旧製品の入れ替えを進めていることから、前年同四半期を下回りました。

また、売上原価につきましては、原価管理の見直し等を行っていることから、原価率は前年同四半期を下回りました。販売費及び一般管理費につきましては、前期に発売した新製品に伴う費用等の反動により、全体といたしましては、前年同四半期を下回りました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,490百万円（前年同四半期比3.6%減）、営業利益は230百万円（前年同四半期比2.8%増）、経常利益は243百万円（前年同四半期比9.7%増）、四半期純利益は171百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。

なお、当社は美容室向け髪髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は、以下のとおりであります。

区分	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレタリー	1,712	66.4	1,723	69.2	10	0.6
整髪料	427	16.5	397	16.0	△29	△6.9
カラー剤	233	9.0	149	6.0	△83	△35.8
育毛剤	90	3.5	104	4.2	13	15.1
パーマ剤	61	2.4	54	2.2	△7	△12.1
その他	57	2.2	60	2.4	2	4.1
合計	2,583	100.0	2,490	100.0	△93	△3.6

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期会計期間の総資産は、前事業年度から347百万円減少し、7,990百万円となりました。

主な要因としては、商品及び製品が221百万円増加し、現金及び預金が192百万円、受取手形及び売掛金が630百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間の負債は、前事業年度から278百万円減少し、1,637百万円となりました。

主な要因としては、販売奨励引当金が77百万円増加し、未払金が223百万円、未払法人税等が178百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間の純資産は、前事業年度から68百万円減少し、6,353百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金が64百万円減少したことによるものであります。なお、自己資本比率は、79.5%(前事業年度77.0%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末より192百万円減少し、1,445百万円(前年同四半期比707百万円減)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、206百万円(前年同四半期比96百万円増)となりました。

収入の主な要因としては、税引前四半期純利益243百万円及び売上債権の減少630百万円であり、支出の主な要因としては、たな卸資産の増加238百万円、法人税等の支払いによる支出281百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、160百万円(前年同四半期は18百万円の収入)となりました。

支出の主な要因としては、投資有価証券の取得による支出100百万円、有形固定資産の取得による支出18百万円及び無形固定資産の取得による支出33百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、238百万円(前年同四半期比37百万円増)となりました。

支出の主な要因としては、配当金の支払いによる支出235百万円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営環境につきましては、個人消費の回復が依然として遅れているなど、不透明な要素が多く、美容室の経営に直接影響する事態も想定されることから、当社の業績に影響を及ぼすことも考えられます。

しかしながら、第3四半期以降につきましては、美容業界の繁忙期と重なることに加え、11月から12月にかけて当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」を開催しており、「コタ アイ ケア」を中心とした利益率の高いトイレットリーの需要増加が見込まれることから、平成28年5月6日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,138,607	2,945,621
受取手形及び売掛金	1,339,792	709,760
商品及び製品	407,895	629,070
仕掛品	6,756	7,429
原材料及び貯蔵品	144,884	161,645
その他	128,879	160,040
流動資産合計	5,166,816	4,613,566
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,194,872	1,156,277
土地	1,158,906	1,158,906
その他(純額)	237,035	206,009
有形固定資産合計	2,590,814	2,521,193
無形固定資産	110,538	308,917
投資その他の資産	469,918	547,026
固定資産合計	3,171,271	3,377,138
資産合計	8,338,088	7,990,704
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	81,575	121,775
未払金	512,162	288,707
未払法人税等	294,400	116,400
賞与引当金	183,206	163,612
役員賞与引当金	—	14,178
販売奨励引当金	45,334	122,763
その他	203,453	178,795
流動負債合計	1,320,132	1,006,231
固定負債		
役員退職慰労引当金	476,040	504,166
長期預り保証金	120,028	127,028
固定負債合計	596,068	631,194
負債合計	1,916,200	1,637,425
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,801	330,825
利益剰余金	6,523,645	6,458,749
自己株式	△820,929	△824,590
株主資本合計	6,421,317	6,352,784
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	569	494
評価・換算差額等合計	569	494
純資産合計	6,421,887	6,353,278
負債純資産合計	8,338,088	7,990,704

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,583,730	2,490,288
売上原価	717,779	661,041
売上総利益	1,865,950	1,829,246
販売費及び一般管理費	1,642,033	1,598,956
営業利益	223,917	230,289
営業外収益		
受取利息	827	2,312
受取配当金	1,509	1,299
受取賃貸料	3,093	3,082
業務受託料	2,500	4,800
その他	2,060	2,861
営業外収益合計	9,991	14,355
営業外費用		
たな卸資産廃棄損	9,836	—
賃貸費用	797	758
その他	1,370	394
営業外費用合計	12,005	1,153
経常利益	221,903	243,492
税引前四半期純利益	221,903	243,492
法人税、住民税及び事業税	102,820	99,938
法人税等調整額	△36,589	△27,603
法人税等合計	66,230	72,334
四半期純利益	155,673	171,157



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	221,903	243,492
減価償却費	108,709	88,072
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,266	△19,594
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	13,604	14,178
前払年金費用の増減額(△は増加)	12,622	36,428
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	26,968	28,126
その他の引当金の増減額(△は減少)	92,703	77,428
受取利息及び受取配当金	△2,337	△3,612
売上債権の増減額(△は増加)	528,266	630,045
たな卸資産の増減額(△は増加)	△239,322	△238,608
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,758	40,199
その他	△374,235	△409,623
小計	351,858	486,531
利息及び配当金の受取額	2,097	1,527
法人税等の支払額	△243,240	△281,177
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,716	206,881
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△11,280	△18,158
無形固定資産の取得による支出	△17,000	△33,575
投資有価証券の償還による収入	50,000	—
投資有価証券の取得による支出	—	△100,000
その他	△3,302	△9,261
投資活動によるキャッシュ・フロー	18,417	△160,996
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△4,932	△3,748
自己株式の売却による収入	—	112
配当金の支払額	△196,920	△235,234
財務活動によるキャッシュ・フロー	△201,852	△238,871
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△72,718	△192,986
現金及び現金同等物の期首残高	2,226,225	1,638,607
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,153,506	1,445,621

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は美容室向け頭髮用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。